

やましんかわら版は
山新販売店と読者を結び
ミニコミ誌です

NEW

やましんかわら版

山形新聞は9月に創刊140周年を迎えます。

発行部数 9万7,000部

毎月5日発行

8月の休刊日はありません。



かわら版編集部

〒990-2323 山形市桜田東二丁目3-8-7
(ホームページ) <http://www.yamashinhanbai.jp/>
(メール) kawaraban@yamashinhanbai.jp
読者お問い合わせ窓口
TEL.023-635-6111 (山新販売内)

今月の
いちばん
情報!!

小野川温泉のさらに先にある、 知る人ぞ知る養魚場。



イワナ



卵をふ化させることから始まるイワナやヤマメの養殖。
網木川養魚場の川魚は、身が締まっただけでおいしいと評判です。



モンテディオ山形を
応援しよう!!
ホームゲーム日程

会場/NDソフトスタジアム山形

節	対戦カードと日時
第28節	8/11(木)18:00 京都サンガF.C. 県民応援デー (チケット販売中)
第30節	8/21(日)18:00 FC岐阜 市町村応援デー 山形市・寒河江市・上市市・河北町 (チケット販売中)

小野川温泉を越えて県道233号線を進むこと10分。人里離れた集落に、冷たい清流で川魚を育てる養魚場がある。その名は網木川(つなぎがわ)養魚場。ここで育ったイワナやヤマメの味わいには、同じ川魚を扱う業者からの信頼も厚いという。百聞は一見にしかずとの思いで、養魚場の田中允行(たなかただゆき)代表にお話を伺ってきました。

Q、なぜ養魚場を始めたのですか。

▶この集落は、もともと福島へと抜ける会津街道の宿場町でした。それぞれ、私が子供の頃は50、60世帯からなる村でしたが、見ての通り市街地を遠く離れた山間にあるものですから、生計を立てるのは難しいことでした。製炭業や林業など、祖父の代も両親の代でも、私の家は地域でできる仕事作りで一生涯懸命のようでした。当時、山村での生活のために、村に新たな事業を起こすことが必要だったのです。

私は若い頃、郷土民芸である笹の一刀彫で生計を立てていましたが、素材となるコシアブラ原木の確保が困難なことから、何か別の事業はできないものかと考え始めました。そして、昭和50

年のこと、集落を流れる豊かな水脈に注目し、川魚の養殖を始めてみようと考えたのです。当時、私は水の清らかな場所でき育てない幻の魚と呼ばれるイワナや、渓流の女王ヤマメを飼育するには、豊かな水源に恵まれた網木はうってつけの場所だと考えたのです。そして、それから約40年、養魚場の仕事を続けています。

Q、事業を軌道に乗せるまで苦労されたことは。

▶苦労も何も、当時の私にとって養殖は、海のものとも山のものとも分からないものでした。家の裏にあった小さな二つの池を使って、手探りで始めましたが、当初はいつになったら採算が合うのかまったく分かりませんでした。川魚の養殖は、13度が適温とされています。温度が一定に近い伏流水による養殖では、通常1年間で出荷できる大きさになるのに対し、ここでは出荷までに倍の2年かかってしまいます。それはなぜか? ご存知の通り、ここは豪雪地帯。冬場は零下15度ほどの気温です。そんな場所で網木川と山の清水を使い、イワナとヤマメを飼育しているのですから大変です。夏こそ16度前後の水温が期待できますが、冬は限りなく0度に近づくと、年間で平均するとやはり適温を大きく下回ることになるの

です。それは成長の大きな妨げになります。養殖とは言っても、河川水を多く使用するとあって、本当に自然相手の仕事なのです。

ただ、冬季に訪れる低温と、ときに到来する濁流の厳しい環境下で育った魚たちだからそのおいしさがあります。鍛え抜かれた身は、引き締まっていて味も格別。そのことを認めてくださり、褒めてくださる方が多いのを、とてもうれしく感じています。

Q、網木川養魚場の今

▶イワナとヤマメを合わせて4万粒からふ化養殖し、年間で3ト前後出荷しています。数字にするとうまい感じられますが、事業としては難しいところです。しかし、好きで始めた養殖事業ですから続けていきたいです。自然環境相手に苦労して育てているからこそ、私はその品質に自信を持っています。また、ヤマメの一夜干しを受注生産していますが、こちらは日本酒に良く合います。活魚と加工品の一夜干しは一般の方にも販売しているの、読者の皆さんにも私の育てた川魚を、ぜひ味わってほしいですね。



左/「もう少しで出荷できる」と、うれしそうにイワナを見つめる田中さん。
中/山間を縫うように県道233号を車で進むと、突如現れる巨大な水槽。山の清水と網木川の水で、元気な川魚が育つ。
右/お酒にぴったりなヤマメの一夜干し。電話予約で一般への販売もしている。



網木川養魚場
住所/米沢市網木147
電話/0238-38-3300
※朝8:00頃がつながりやすいです。